

令和4年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第4回理事会

日時 令和4年7月30日(土)
午後16時30分～午後18時20分
場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所及びWEB開催

令和4年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第4回理事会

日 時 : 令和4年7月30日（土） 午後16時30分～午後18時20分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会（以下、静臨技）事務所及びWEB開催

出席者 : 現在役員数20名（理事18名・監事2名）

高林保行 羽切政仁 深澤邦俊 鈴木秀明 山下計太 原宣紀 高橋詩帆

石井浩崇 加茂川暢彦 松浦裕 久留島幸路 平澤英典 直田健太郎 坂根潤一

齋藤晴義 須田達也（監事） 鈴木篤（監事） 岩崎佐知子（書記）

（18名／全20名中 うち理事16名／18名 監事2名／2名）※敬称略

欠席者 : 齋田英之 前澤圭亮

議長及び議事録署名選出

議長 高林保行

議事録記名人 羽切政仁 深澤邦俊 鈴木秀明 鈴木 篤 須田達也

報告事項及び議題 ※敬称略

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 前回議事録確認 | (坂根) |
| 2 第 60 回中部圏支部医学検査学会 | (羽切) |
| 3 各部報告・審議項目 | (各部局長・理事) |
| ・ 学術部 | (羽切) |
| ・ 組織部及び連盟 | (深澤・松浦・石井) |
| ・ 広報部 | (鈴木) |
| ・ 会計部 | (齋藤) |
| 4 その他 | |

【報告事項及び議題】

1. 前回議事録確認

2. 各部報告・審議事項

1) 学術部（羽切学術部長）

1. 報告事項

①研修会申請・生涯研修登録

開催申請

20220806 第1回 臨床血液部門研修会（Web型）

20220820 第2回 臨床生理部門研修会（Web型）

20220827 第1回 生物化学分析部門研修会（Web型）

20220903 第1回 病理細胞部門研修会（Web型）

20220910 第1回 臨床一般部門研修会（Web型）

終了申請

20220625 第1回 臨床生理部門研修会（Web型）

20220703 第1回輸血細胞治療部門研修会（Web型）

②令和4年度衛生検査所立入検査の実施について報告がされた。

③実技研修会試料に関する日赤との令和4年度委託契約について
メール審議を行い承認された。

④一般社団法人 TOMOSO の登録団体申請について
メール審議を行い承認された。

⑤一般社団法人 TOMOSO 「第52回・53回 静岡小児臨床ネットワーク 勉強会」共催申請に
ついてメール審議を行い承認されたが、参加費の設定について先方に問い合わせること
となった。

⑥静岡県衛生検査所外部精度管理事業委託契約に係る「事業者等を守り育てる静岡県公契約
条例」に基づく誓約書の提出等については委託契約書を今後取り交わす。

2. 審議事項

特になし

3. 協議事項

特になし

2) 組織部及び連盟（深澤組織部長 松浦理事 石井理事）

① 会員名簿については、現在内容を確認中、8月上旬に関連部分の確認をお願いします。

② 各種表彰について

ア 令和5年春の叙勲・褒章候補者の推薦について（依頼）

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が2022年5月30日（月）

- ⇒ 調査依頼 (5/26 まで) ⇒ 候補者なし
- イ 令和 55 回衛生教育奨励賞表彰候補者の推薦依頼について
静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が 2022 年 7 月 1 日 (金)
⇒ 調査依頼 (6/27 まで) ⇒ 候補者なし
- ウ 令和 4 年度公衆衛生事業功労者候補者の推薦依頼について
静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が 2022 年 7 月 6 日 (水)
⇒ 調査依頼 (6/29 まで) ⇒ 候補者なし
- エ 令和 4 年度秋季善行候補者の推薦依頼について
静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が 2022 年 6 月 22 日 (月)
⇒ 調査依頼 (6/20 まで) ⇒ 候補者なし
- オ 第 51 回医療功労賞候補者の推薦依頼について
静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2022 年 8 月 12 日 (金)
⇒ 調査依頼 (8/4 まで) ⇒ 調査中

② 会員の異動について

- ア 令和 4 年 5 月分の異動確認済み ⇒ メール承認 ⇒ 静臨技会報 7 月号に掲載
イ 令和 4 年 6 月分の異動確認済み ⇒ メール承認 ⇒ 静臨技会報 8 月号に掲載予定

③ 求人情報掲載について

- ア 前回理事会報告 5 月 28 日から 7 月 30 日まで ⇒ 掲載依頼 10 件、削除依頼 0 件

④ 技師会連盟関連、活動報告

特になし。

3) 渉外広報部 (鈴木渉外広報部長)

① 会員投稿ページ担当輪番表を作成した。

輪番表は理事会で承認されたため、担当月 (号) 1~2 か月前に担当理事に原稿依頼を行う。担当月の前の月 17 日 17 時締め切りに、間に合うように原稿提出をお願いした。

② 小林クリエイトより静臨技ニュースの価格改正の依頼があった。

価格が上昇しているが、適正であると判断し今年度はこの価格で印刷依頼することが承認された。

③活動報告 静臨技ニュース 7 月号は会員に配布済み。ホームページにも掲載済み。

8 月号は現在小林クリエイトに印刷依頼中。ホームページには掲載済み。

4) 会計部 (齋藤会計部長)

① 報告事項

日臨技から会費送金について下記のごとく報告された。

- ア 令和 4 年 4 月締め分、会費・入会金あわせて 271,000 円

イ 令和4年5月締め分、会費・入会金あわせて175,500円

追加 日臨技関係（直田理事）

7/23に開催された日臨技理事会にて、宮島会長から「日臨技検討課題および今後の方向性について」示されたため、以下の内容について情報共有された。

●「日臨技今期の優先業務」

各事業区分別の優先業務とその概要について示す。

○学術・事業部門

・新たな生涯教育制度の考え方

現行の生涯教育制度は2012年度に創設された制度であり、形骸化している部分も否めない。また、看護協会や放射線技師会では新人からベテランまでのシームレスな教育制度を導入し、職能団体のみならず自施設の評価にもつなげているところである。それらの方向性も含めて、新たな生涯教育制度の構築をお願いしたい。

・支部運営の改革

日臨技の直接の下部組織として位置付けている支部運営の位置づけ、支部研修会の在り方、支部学会の方向性など、日臨技の支部としての改革が必要な時期に来ている。都道府県技師会との強固な連携のためにも、改革に着手してほしい。

・日本医学検査学会のあり方

現在、7支部（現状は6支部）にて持ち回りで開催している日本医学検査学会だが、開催会場の選定についてはガイドラインで定められた会場ではなく、開催都道府県の意向により決定されている現状がある。現在のところ今まで開催された会場において大きな混乱はおきてはいないが、会場の利便性や展示会場の広さ、宿泊施設の多さなど、一定ではなく、現状定められている運営規定・細則・ガイドライン等を見直す時期に来ていると思われる。その意味では日臨技としての最大の学術活動である日本医学検査学会そのものの姿を考えていくことも必要であり、その改革に着手してほしい。

・国際学会の誘致について

2016年に神戸で開催したIFBLSだが、世界的な社会情勢を勘案しながら臨床検査技師の国際化のために4年後にIFBLS誘致をしたいと考えている。

○政策渉外・総務部門

・理事定数の見直しを含めた組織の在り方の検討

令和2年度から47都道府県技師会推薦の選任理事による理事会運営を行い都道府県技師会との連携強化と情報収集、会員への迅速な情報提供を導入しているが、47都道府県選出の理事自体の意識が低く、都道府県の意見を伝達する役目だけに注力している感がある。また、本来の理事の役目は理事会での業務の執行の決定と業務執行の監視が大きな役割であるが、その意識に欠ける理事も散見する。そのため、従来の支部からの選出体制に戻し、支部の役割を強化したうえ

で、理事の意識を取り戻したいと考えている。そこで、理事の定数（各支部 3 名など）について再検討していただきたい。

また、正会員の会費についても、若年者（特に新卒者）や 70 歳以上の会員にも減免を検討する必要があると考えている。高齢者は年金からの支出でありその支出のあり方も検討（70 歳以上は 1 度頂いたら、終生会員になっていただくとか？）してほしい。

○各事業区分の共通の優先業務

・次世代人材育成プロジェクト（世代交代）

下記の青年部の創設にも関係するが、日臨技の事業を継続的に運用し発展させるためには、適切な世代交代が必要となって来る。現状を担っている役員だけでなく適切に世代交代を行えるように、各委員会や WG で検討を行う。

・青年部の創設

臨床検査技師の継続的な発展進化には、若手の臨床検査技師の協力が重要である。若手の積極的な技師会活動を誘発するためには青年部を創設し、若手としての企画を行い、活発な技師会活動につなげたい。

特に青年部の創設に関しては、日臨技として人材を確保する必要性も考えられるため、今後の検討課題とする必要性がある事が共有された。

4. 第 60 回中部圏支部医学検査学会（羽切学術部長）

1) 報告事項

- ① 5 月 28 日に一般演題募集締め切り。結果 116 演題（静岡県 74、愛知県 26、三重県 8、富山県 5、岐阜県 3）がエントリーされた。
- ② 5 月 29 日に学術部門長へ一般演題の査読員推薦を依頼した。
- ③ 5 月 31 日にクリックネット社へ Web 抄録の作成を依頼した。
- ④ 6 月 1 日に一般演題査読員へ依頼状を送付した。
- ⑤ 6 月 17 日に協賛申込を締切。結果、ランチョンセミナー 10 社、展示 24 社（27 小間、車両展示 1）、広告掲載 27 社（28 頁）、協賛 7 社（12 口）となった。（資料 1）
- ⑥ 6 月 17 日に企業展示出展社へ出展内容確認書と備品注文書を送付した。
- ⑦ 6 月 28 日に学術部門長へ一般演題の座長推薦を依頼した。
- ⑧ 7 月 1 日に中高生進学セミナーの演者へ依頼状を送付した。
- ⑨ 7 月 1 日に一般演題の採否通知を送信した。

2) 審議事項

- ① 日程表について審議され承認された。同じく受付とクロークの時間は下記で承認された。

受付：	(土) 8:20~16:00	(日) 8:20~13:00
クローク：	(土) 8:20~17:00	(日) 8:20~14:30

- ② 会場について
各会場の運用方法については概ね承認されたが、演者・座長控室（403 小会議室）については、引き続き運用方法を検討することとなった。
- ③ コングレバックについて
色はネイビー、発注数 500 個で決定した。
- ④ 学会役員一覧の名簿について承認となった。
- ⑤ 来賓について
 - ・開会式参加の賛助会員は協和医科と中北薬品で決定された。
 - ・記念式典参加の歴代会長及び名誉会員は承認されたが、功労賞を受賞された菌田さんも加えるべきではないかという意見があり、参加追加となった。
 - ・議員の参加についてはオブザーバー等の意見もいれて再度検討する。
- ⑥ オンデマンド視聴は混乱を避ける為、会員限定（事前参加・当日参加とも）とすることで決定した。賛助会員・学生・非会員等は視聴できない。
- ⑦ 追加審議
一般演題目次については資料 7-2 で遺伝子とその他を入れ替えることで承認された。

3) 協議事項

- ① 来賓（議員）については上記の通り
- ② 事前参加申込（ランチョン含む）期間については 8 月 15 日（月）～9 月 26 日（月）とする。その後、お弁当の手配・参加証や名札等の郵送に取り掛かる。
- ③ オンデマンド用録音スライドを演者に提出させる案については後日検討。
- ④ 懇親会については多数決の結果、行わないと決定した。会場はそのまま借用。
- ⑤ 今後の予定 その他
 - ・中高生進学セミナーのチラシを沼津市教育委員会に配布とともに、沼津、三島、富士市 16 校の高校に郵送する。チラシの印刷は静臨技で行う予定。
 - ・プログラムの完成と HP の更新を早急に行う。
 - ・実行委員や実務委員のマニュアル作成
 - ・実務委員の確定と役割分担を決め、9 月に説明会を行う。
 - ・学会開催中の感染対策について検討する。（消毒薬のレンタルなど）担当は石井理事が指名された。

5. その他

- 1) 高橋理事より 来年度の県学会と総会についての意見があったがメールでの討議となった。
- 2) 70 周年記念式典（静臨技）についての準備について

- 3) 元日臨技副会長である横地常広氏について、長年に渡る静臨技及び日臨技への貢献度を鑑み、当会顧問又は名誉会員へ選出してはどうかとの意見が挙がり、今後の検討課題とする事になった。

書記 岩崎佐知子

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 高林 保行

氏名 _____ 印

議事録記名人

羽切政仁 深澤邦俊 鈴木秀明 鈴木篤 須田達也

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印